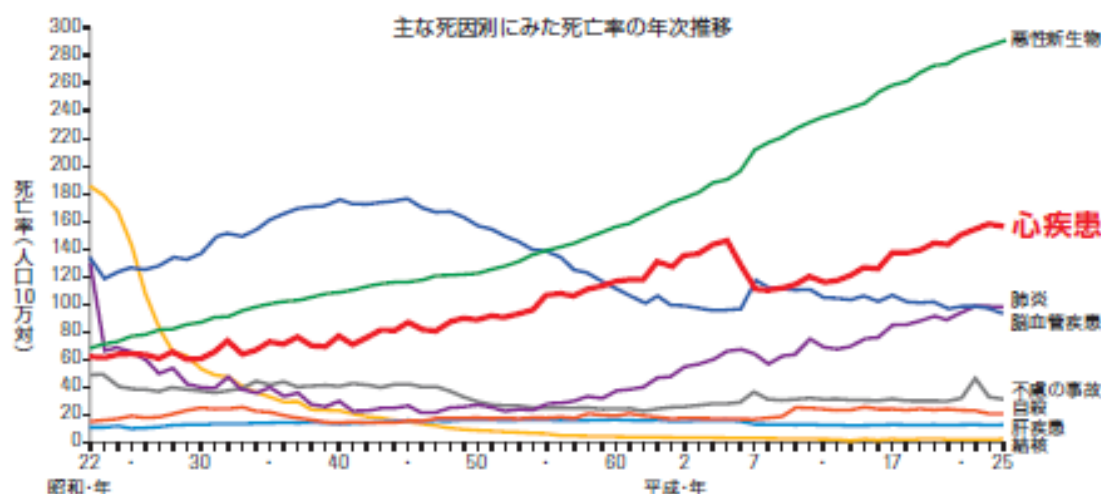


心臓の健康度を予測する NT-proBNP

【監修】静岡県立総合病院 臨床医学研究センター部長 島田 俊夫 先生

「心疾患」は、日本人の死因第2位です。



注: 1) 平成8・7年の心疾患の低下は、死亡診断書(死体検察書)(平成7年1月施行)において「死亡の原因には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの増加の影響によるものと考えられる。
2) 平成7年の脳血管疾患の上昇の主原因は、ICD-10(平成7年1月適用)による原因分類ルールの変更によるものと考えられる。

※平成7年以降の「心疾患」では、高血圧性心疾患を除かれています。

出典:厚生労働省大臣官房統計情報部

かくれ心不全患者は、100万人以上いると言われています。

こんな症状の方は要注意です。

血圧が高い

高血圧症
4,300万人^{※1}



※1 Circ J. 2013; 77: 222B-31. より引用

血糖値が高い

糖尿病
2,050万人^{※2}



※2 国民健康・栄養調査の結果より引用

コレステロール値や
中性脂肪値が高い

脂質異常症
1,410万人^{※2}



メタボ気味

メタボリック
シンドローム
1,940万人^{※2}



生活習慣病は、心臓に負担をかけます

心臓の健康度を測るには、「NT-proBNP」検査をおすすめします。

早期であれば、心臓はもとの元気な状態に戻せます。自覚症状がなくても、定期的に検査することをおすすめします!

Roche

Q 高血圧はなぜ心臓に悪いの？

厚生労働省高血圧ホームページより
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kankou/saikaku/koukatsusai/>

A 高血圧は心臓病や脳卒中を引き起こしやすくなります



血液が流れている血管内(動脈内)の圧力が高くなると、つねに血管に大きな力がかかって、動脈(左心室から全身に酸素に富んだ血液を送り出す血管)が傷みやすくなるのが、大きな問題となります。それと同時に、心臓は血液を高い圧力で送り出さねばならず、多くのエネルギーを必要とするために肉体的労働を強制される羽目になり、心肥大を生じます。結果として高血圧は血管や心臓に臓器障害(脳血管障害、心筋梗塞)をもたらすこととなります。

●心臓や血管等の病気(循環器病)の危険因子

- ・高血圧
- ・喫煙
- ・高コレステロール血症
- ・糖尿病
- ・高齢(男性60歳以上、女性65歳以上)
- ・若年発症の心血管病の家族歴 等

Q NT-proBNPの結果はどうみたらいいの？

【監修】 静岡国立総合病院
臨床医学研究センター部長 島田 俊夫 先生

A NT-proBNPは、心臓に負担がかかると分泌されるホルモンです。NT-proBNPを測定することによって、心臓への負担度が検査値で分かるため、自覚症状のない心不全の早期発見にも役立ちます。

循環器検診でのNT-proBNP測定値の判断基準値

0~55	56~125	126~400	401~ (pg/mL)
正常群	早期予防群	経過観察群	心不全の疑い群
「心臓・血管系に問題なし」	「生活習慣病の注意が必要です」	「生活習慣病および心疾患の疑いがあります」	「心不全を含む心疾患の疑いがあります」
定期的な検診により生活習慣病の予防が重要です。	生活習慣病の早期予防が必要です。	生活習慣病の改善に加え、経過観察が必要です。	精密検査をお勧めします。
			

高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、心臓に負担がかかる恐れがあり心不全の危険因子といわれています。心不全はゆっくと悪化していくため自覚症状がないこともあります。

「早期発見のためにも定期的なNT-proBNPの測定をおすすめします。」

電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

Roche

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

〒105-0014 東京都港区芝2-6-1